



大同メタル工業株式会社

**2025年3月期 第2四半期（中間期）
決算補足説明資料**

2024年11月7日

〔東証プライム市場、名証プレミア市場〕

証券コード:7245



2025年3月期 第2四半期（中間期）実績（連結）



単位：百万円

連結	実績		前年同期比	
	2024/3期 中間期	2025/3期 中間期	増減額	増減率
売上高	63,383	68,432	5,048	8.0%
営業利益 (営業利益率)	2,210 (3.5%)	2,708 (4.0%)	498 (0.5pt)	22.5%
経常利益 (経常利益率)	2,212 (3.5%)	2,620 (3.8%)	407 (0.3pt)	18.4%
親会社株主に帰属する 中間純利益 (純利益率)	615 (1.0%)	528 (0.8%)	△ 87 (△ 0.2pt)	△ 14.1%
自己資本当期純利益率 (ROE) *	2.0%	1.5%	△ 0.5pt	-
自己資本比率	35.1%	36.9%	1.8pt	-
純有利子負債 (有利子負債-現預金)	37,354	34,573	△ 2,780	△ 7.4%
為替レート (1USD/円)	144.99	161.07		
為替レート (1ユーロ/円)	157.60	172.33		

左記為替レートは
各期6月末TTMレート

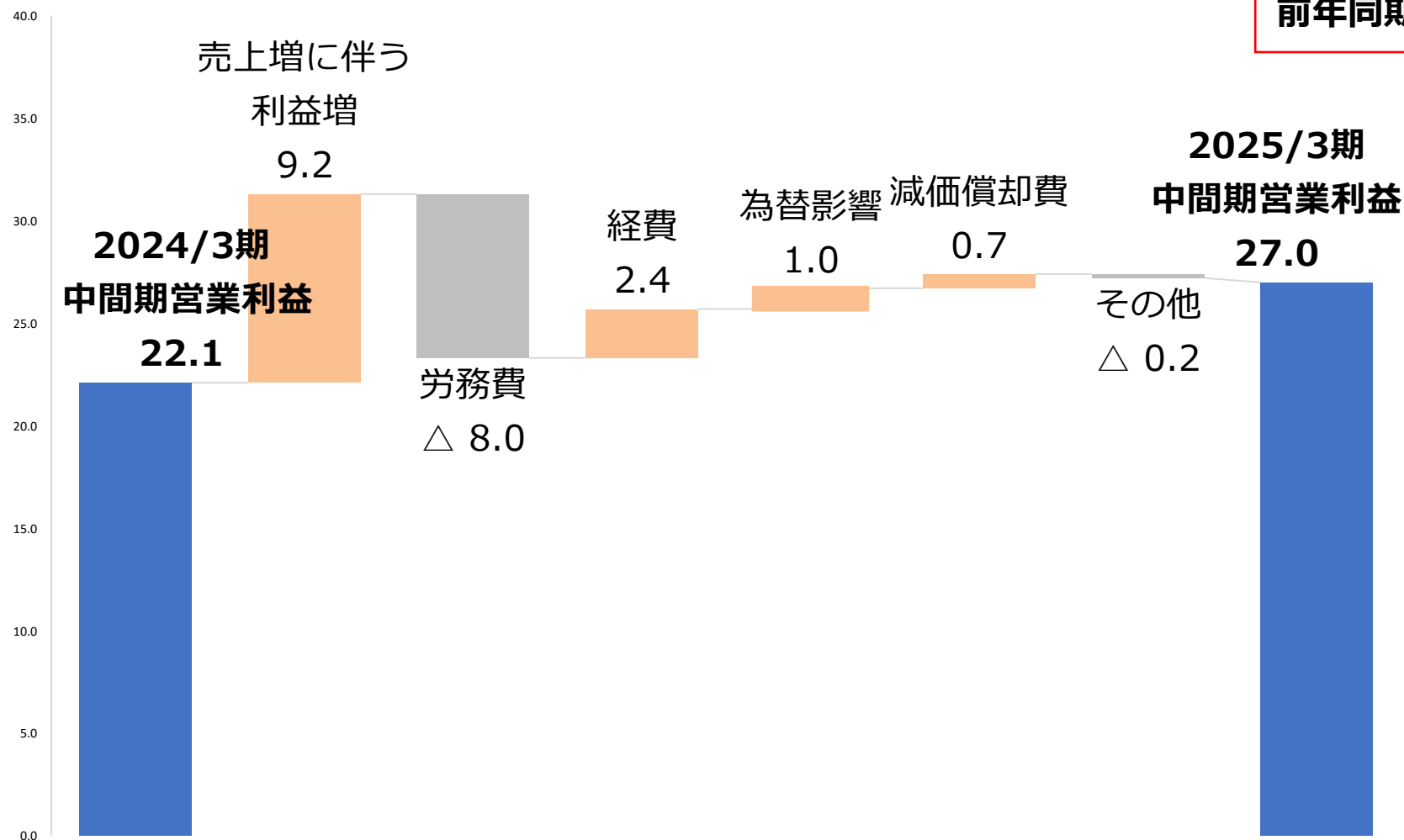
*ROEは、親会社株主に帰属する中間純利益を年換算し算出しております。

連結営業利益の増減要因【実績】

単位：億円



前年同期比



労務費増等により8.2億円利益減があったものの、売上増に伴う利益増や経費・為替影響・減価償却費減等で約13.3億円の利益増があり、前年同期比約4.9億円増益

2025年3月期 通期予想(連結)

単位：百万円



連結	実績	予想	前年同期比	
	2024/3期 通期	2025/3期 通期	増減額	増減率
売上高	128,738	131,000	2,261	1.8%
営業利益 (営業利益率)	6,084 (4.7%)	6,000 (4.6%)	△ 84 (△ 0.1pt)	△ 1.4%
経常利益 (経常利益率)	5,825 (4.5%)	5,700 (4.4%)	△ 125 (△ 0.2pt)	△ 2.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (純利益率)	2,569 (2.0%)	2,500 (1.9%)	△ 69 (△ 0.1pt)	△ 2.7%
為替レート (1USD/円)	141.83	146.00		
為替レート (1ユーロ/円)	157.12	159.00		

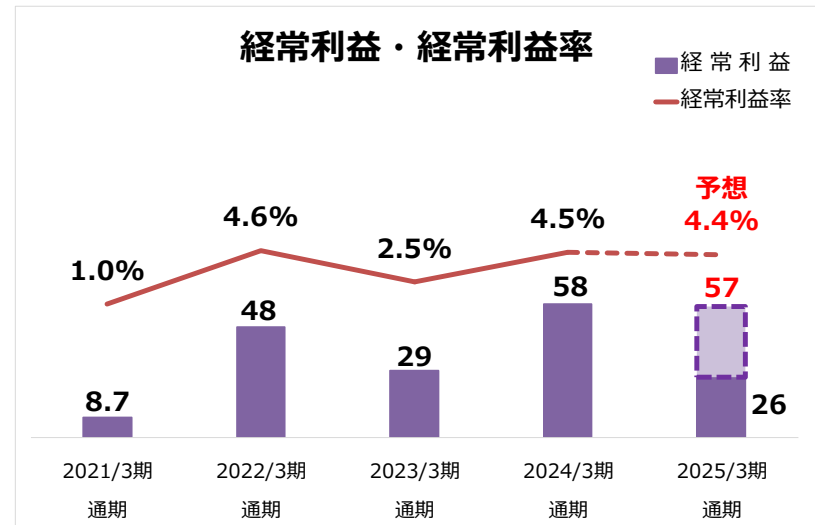
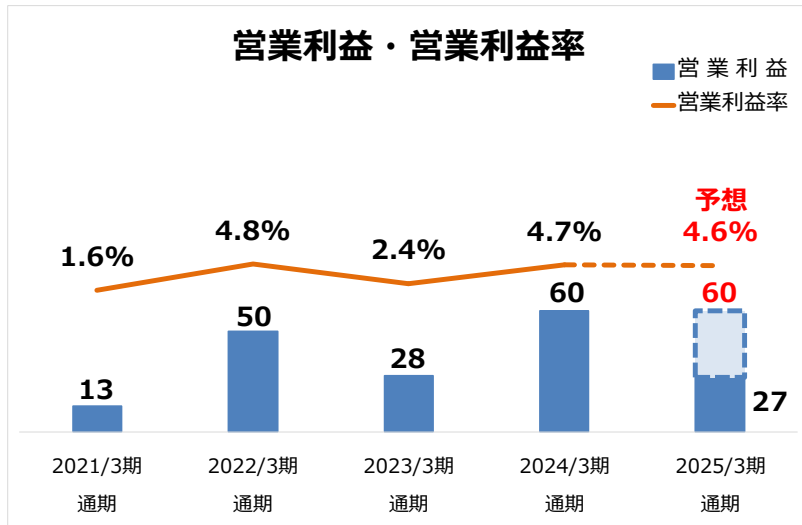
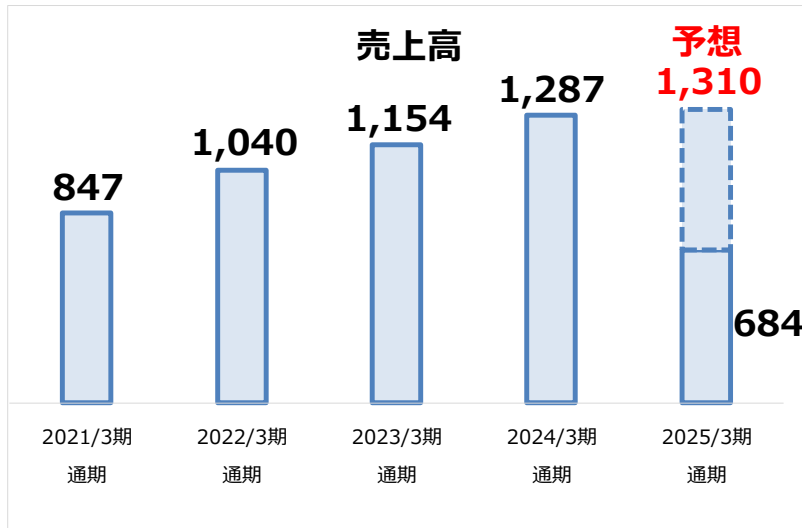
12月末TTMLレート

通期の業績予想は、2024年5月14日に公表した予想値に変更はありません。

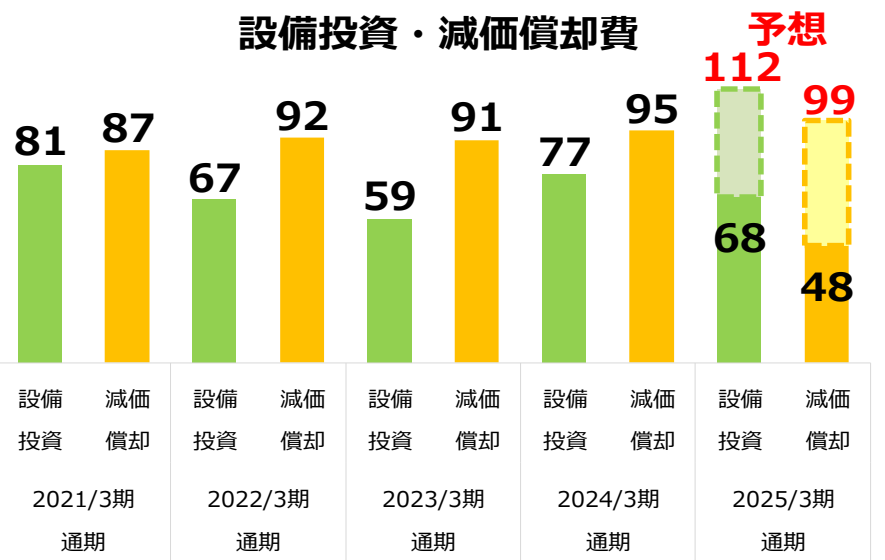
(予想)

<配当金推移>	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期	2025/3期
中間	10円	10円	10円	2円	7円
期末	10円	15円	2円	13円	8円
年間	20円	25円	12円	15円	15円

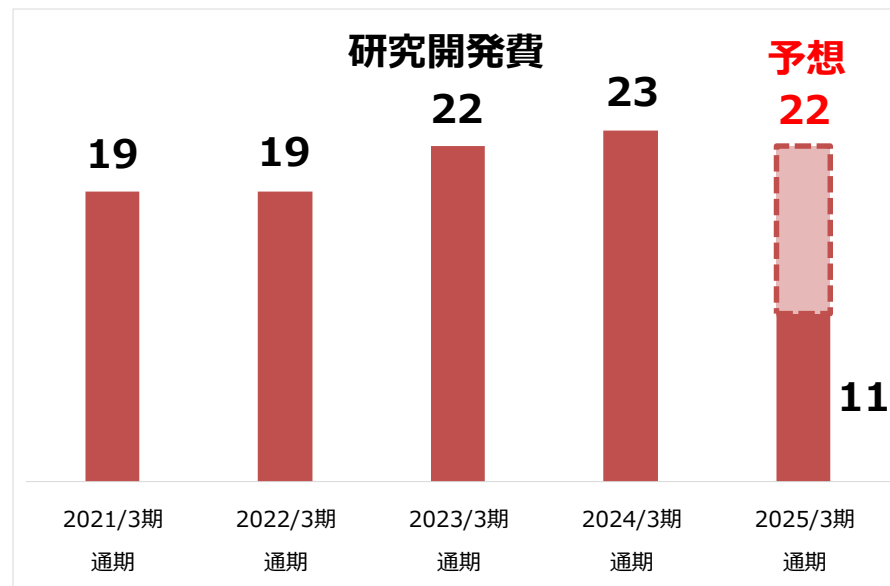
配当性向	888.7%	61.4%	—	27.5%	28.3%
利回り (期末株価ベース)	3.4%	4.4%	2.3%	2.2%	—



設備投資・減価償却費



研究開発費



前年同期比

【売上高】

【営業損益】

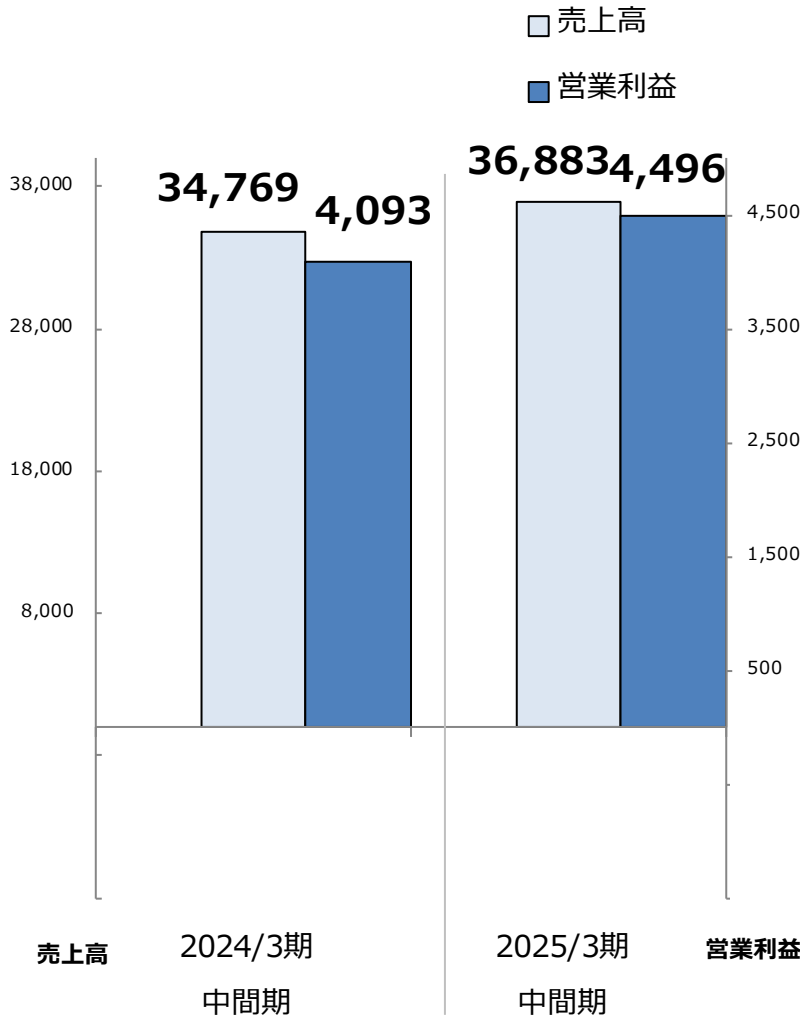
セグメント	売上高 構成比	前年同期比		前年同期比	
		増減額	増減率	増減額	増減率
自動車用 エンジン軸受	53.3%	2,113	6.1%	403	9.8%
自動車用 エンジン以外軸受	15.4%	432	4.2%	82	6.0%
非自動車用軸受	12.5%	523	6.4%	264	19.0%
自動車用 軸受以外部品	17.1%	1,746	17.3%	17	—
その他	1.7%	3	0.3%	△ 31	△ 14.9%
セグメント間消去		230		△ 237	
全体合計：		5,048	8.0%	498	22.5%

自動車用エンジン軸受

(セグメント間消去前)

前年同期比

◎増収/増益要因 △減収/減益要因



【売上】 +2,113 (+6.1%)

- △日本：トラックの東南アジア向け（インドネシア、タイなど）の需要減退の継続に伴う受注減
- ◎北米：日系メーカーの需要の戻りやHV車などの需要増に伴う受注増
- ◎中国：中国メーカーの需要の戻りや中国2輪メーカー開拓による受注増
- △欧州：EV化に伴う内燃機関搭載車の需要減に加え、大型トラック用需要は堅調であるものの在庫調整による受注減

【営業利益】 +403 (+9.8%)

- ◎日本：継続的な原価改善活動、販売価格の調整や不採算品の値上げ活動による利益改善などの影響
- ◎欧州：労務費や物流費の削減努力
- △北米：物流費・経費の増加やドル安ペソ高の進行によるメキシコ生産品の原価増による影響

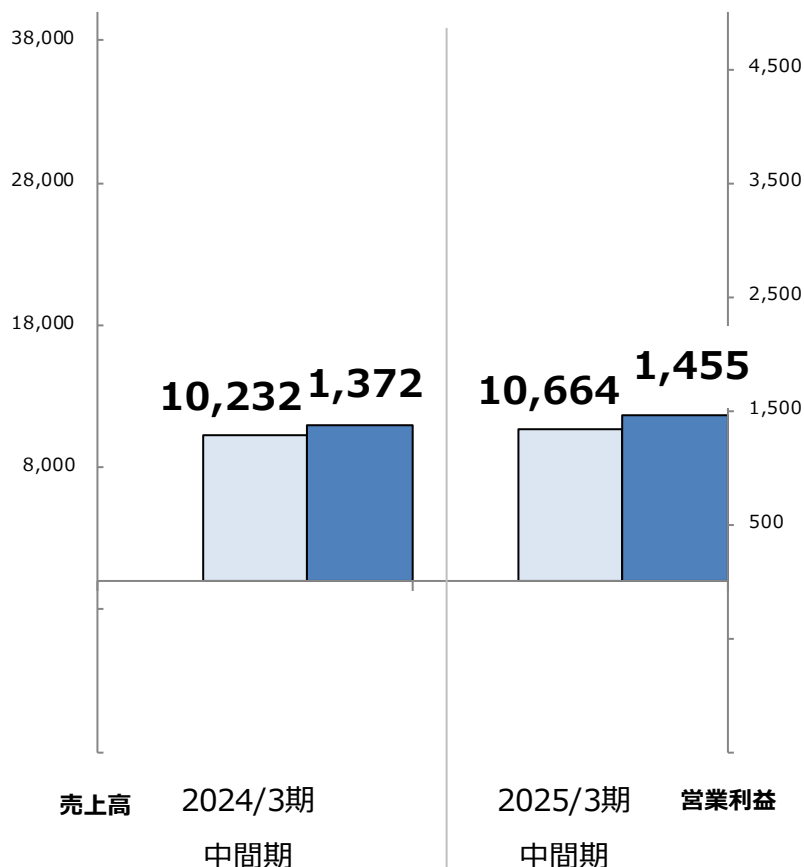
自動車用エンジン以外軸受

(セグメント間消去前)

前年同期比

◎増収/増益要因 △減収/減益要因

□ 売上高
■ 営業利益



【売上】 +432 (+4.2%)

- ◎ **中国**：電動自動車向けの開拓などに伴う受注増
- △ **タイ**：金融機関によるローン審査の厳格化や景気減速などによる受注減

【営業利益】 +82 (+6.0%)

- ◎ **日本**：継続的な原価改善活動、販売価格の調整や不採算品の値上げ活動による利益改善などの影響

非自動車用軸受

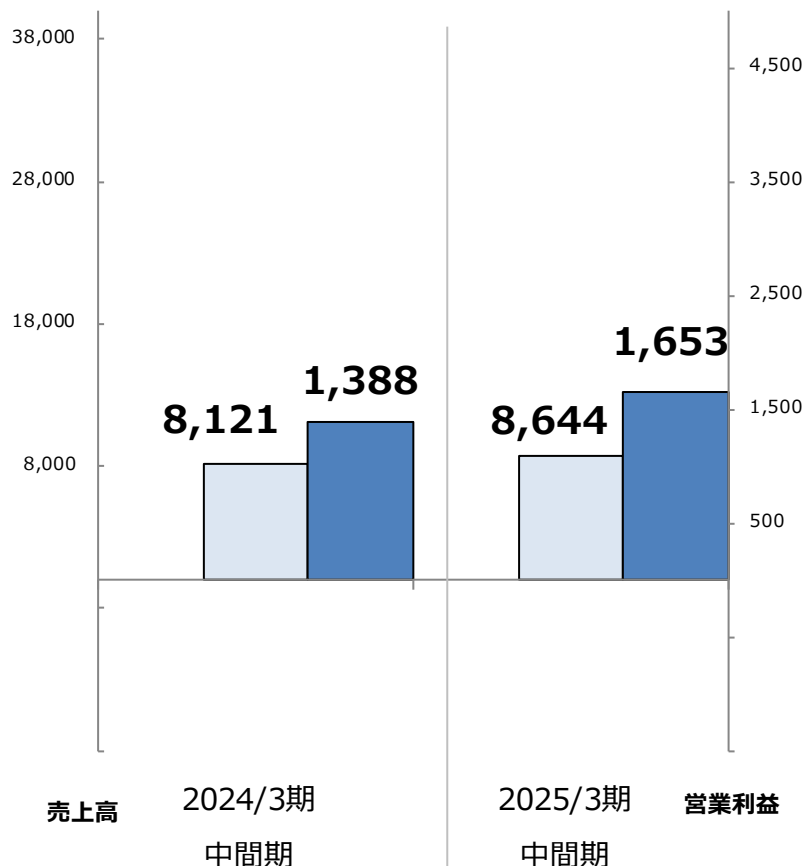
(セグメント間消去前)

前年同期比

□ 売上高

■ 営業利益

◎ 増収/増益要因 △ 減収/減益要因



【売上】 +523 (+6.4%)

◎ **大型船舶：**

LNG船(液化天然ガス運搬用)、自動車運搬船やばら積み船の需要増加、継続的な中国や韓国市場の開拓に伴う受注増

◎ **建設機械/中小型船舶/産業用発電機他：**

建設機械用サービスパーツは在庫調整などによる受注減となるも組付の需要は堅調、船舶用補機や発電機などに使われる中高速エンジン用軸受の受注増

△ **電力エネルギー/産業用コンプレッサー他：**

水力発電機用軸受や石油精製プラント向けコンプレッサー用軸受の受注増はあったものの蒸気タービン用軸受の一部で在庫調整などに伴う受注減

【営業利益】 +264 (+19.0%)

◎ 大型船舶向け開拓による増収や販売価格の改善による影響

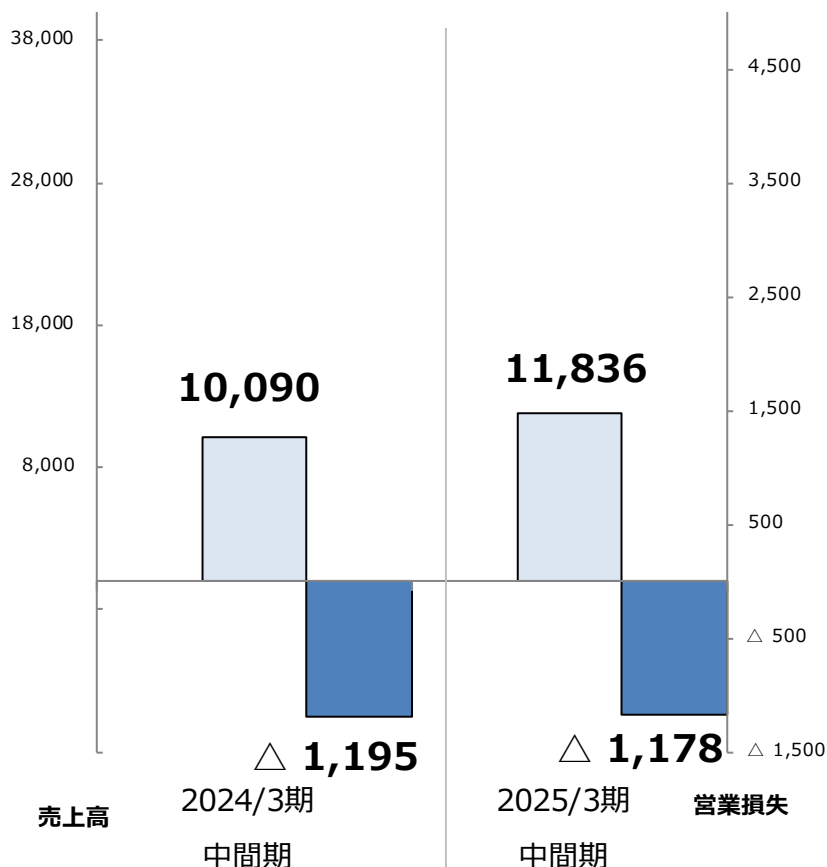
前年同期比

自動車用軸受以外部品

(セグメント間消去前)

◎増収/増益要因 △減収/減益要因

□売上高
■営業損失



【売上】 +1,746 (+17.3%)

- ◎ **アルミダイカスト製品**：
受注価格調整の効果による影響や北米向け電動自動車用部品の需要好調に伴う受注増
- ◎ **精密金属加工部品**：
北米向け電動自動車用部品の需要好調に伴う受注増

【営業損失】 +17 (-)

- △ **アルミダイカスト製品**：
金型管理の高度化、仕上げ工程の改善や不良品の流出防止などの改善活動により、足元のエア便は減少したものの、船便輸送期間の長期化によるエア便出荷やエア便単価高騰の影響
顧客への転嫁により下期は改善を予定
- ◎ **精密金属加工部品**：
増収効果や物流費の減少による影響

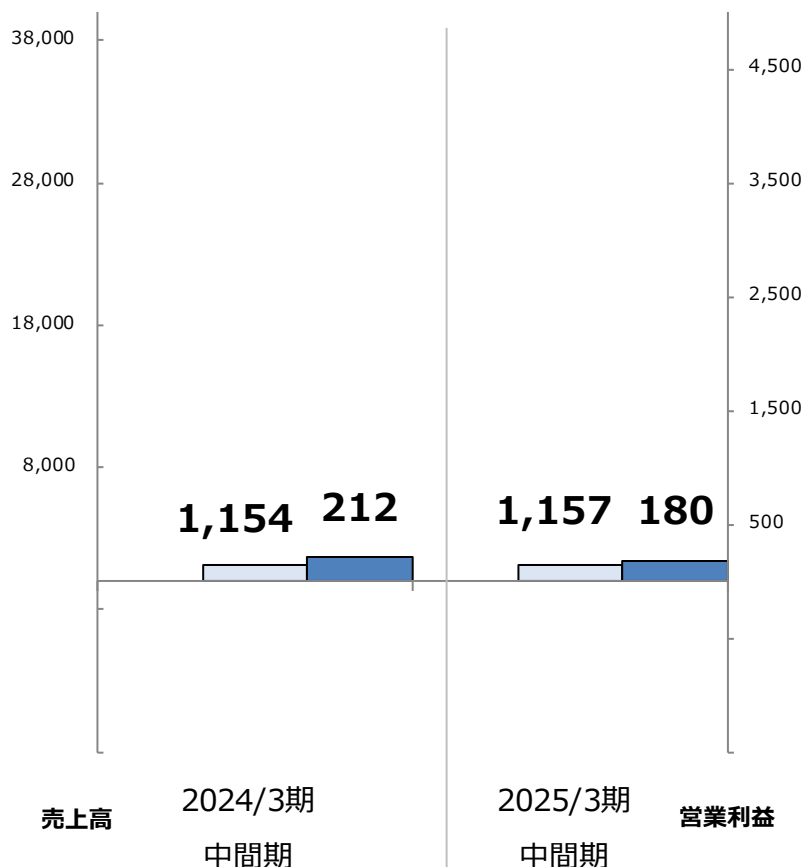
その他

(セグメント間消去前)

前年同期比

◎増収/増益要因 △減収/減益要因

□ 売上高
■ 営業利益



【売上】 +3 (+0.3%)

【営業利益】 △31 (△ 14.9%)

△製品構成の変化による影響

※「その他」の区分は、金属系無潤滑軸受事業、ポンプ関連製品事業、電気二重層キャパシタ用電極シート、不動産賃貸事業等を含んでおります。

前年同期比

【売上高】

【営業損益】

所在地	売上高 構成比	前年同期比		前年同期比	
		増減額	増減率	増減額	増減率
国内	49.9%	2,187	5.4%	685	57.6%
アジア	26.5%	3,250	16.8%	△ 76	—
北米	13.7%	1,892	19.2%	△ 435	△ 45.2%
欧州	9.9%	453	5.7%	291	—
内部取引消去		△2,735		33	
全体合計：		5,048	8.0%	498	22.5%

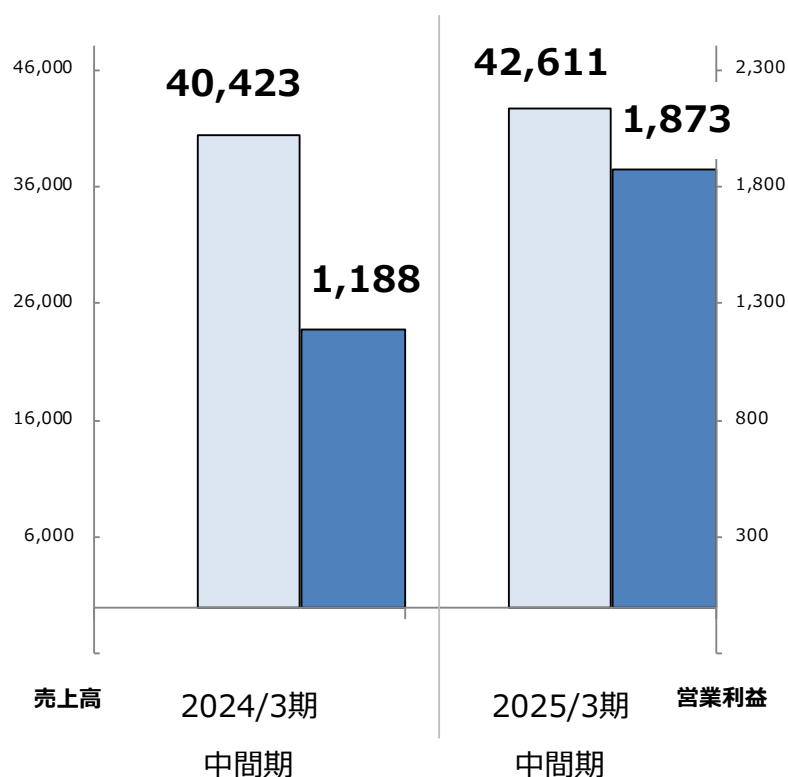
国内

(内部取引消去前)

前年同期比

◎増収/増益要因 △減収/減益要因

□ 売上高
■ 営業利益



【売上】 +2,187 (+5.4%)

◎新造船需要増に伴う大型船舶用（主機用）
中小型船舶用（主機用/大型船舶の補機用）
に使われるエンジン用軸受の受注増

【営業利益】 +685 (+57.6%)

◎継続的な原価改善活動、販売価格の調整や
不採算品の値上げ活動による
利益改善などの影響

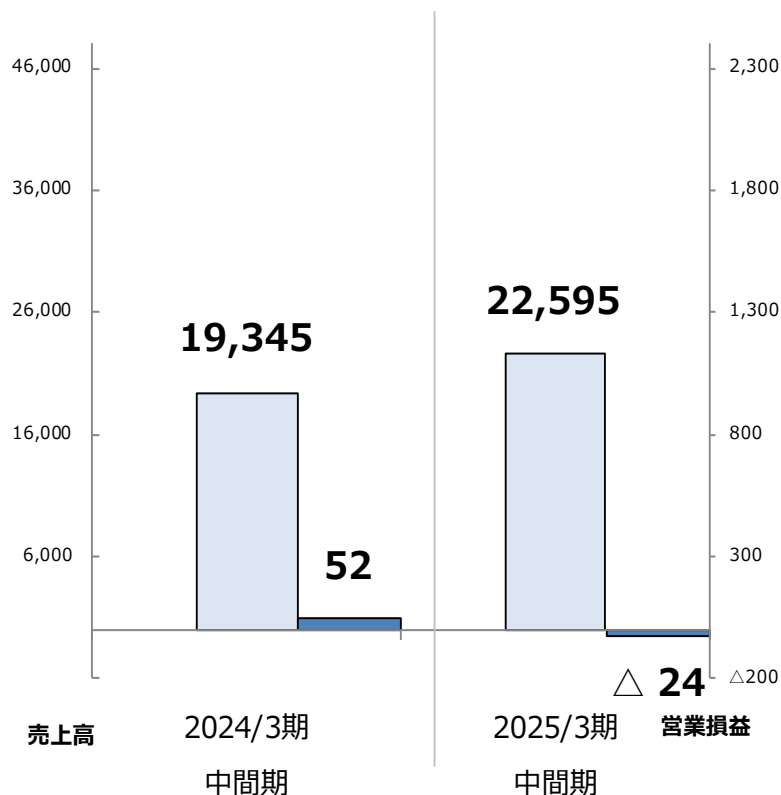
アジア

(内部取引消去前)

前年同期比

◎増収/増益要因 △減収/減益要因

□ 売上高
■ 営業損益



【売上】 +3,250 (+16.8%)

△タイ自動車用軸受：

タイにおいて金融機関によるローン審査の厳格化や景気減速などによる受注減

◎中国自動車用エンジン軸受：

中国メーカーの需要の戻りや中国2輪メーカー開拓による受注増

◎アルミダイカスト製品：

受注価格調整の効果による影響や北米向け電動自動車用部品の需要好調に伴う受注増

◎精密金属加工部品：

北米向け電動自動車用部品の需要好調に伴う受注増

【営業損益】 △76 (-)

△自動車用軸受：タイにおける減収による影響

△アルミダイカスト製品：

金型管理の高度化、仕上げ工程の改善や不良品の流出防止などの改善活動により、足元のエア使は減少したものの、船便輸送期間の長期化によるエア使出荷やエア使単価高騰の影響顧客への転嫁により下期は改善を予定

◎精密金属加工部品：

増収効果や物流費の減少による影響

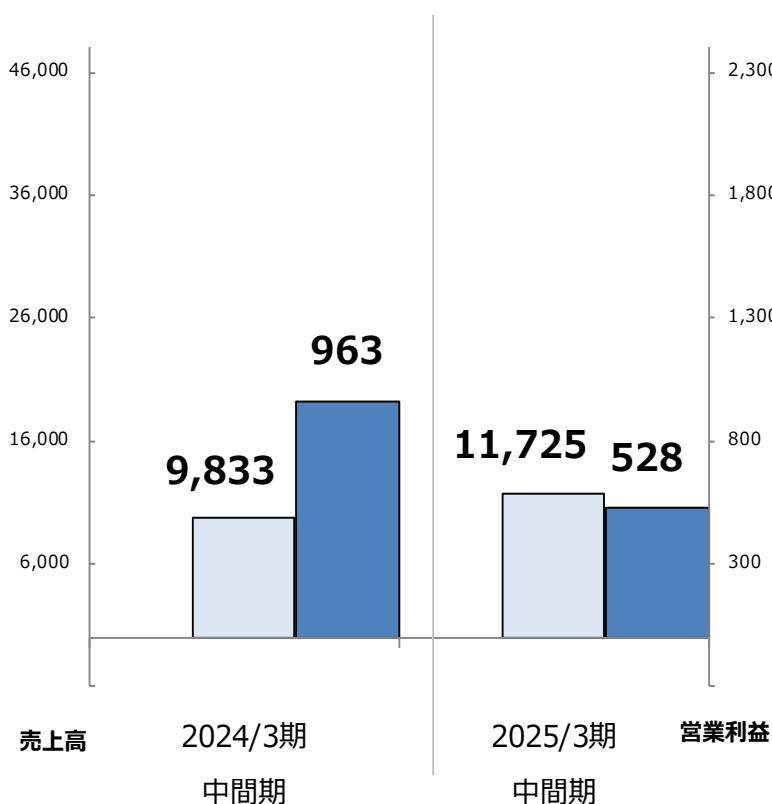
北米

(内部取引消去前)

前年同期比

◎増収/増益要因 △減収/減益要因

□ 売上高
■ 営業利益



【売上】 +1,892 (+19.2%)

- ◎ **自動車用軸受**：
日系メーカーの需要の戻りやHV車などの需要増に伴う受注増
- ◎ **精密金属加工部品**：
電動自動車用部品の需要好調に伴う受注増

【営業利益】 △435 (△ 45.2%)

△ 物流費・経費の増加やドル安ペソ高の進行によるメキシコ生産品の原価増による影響

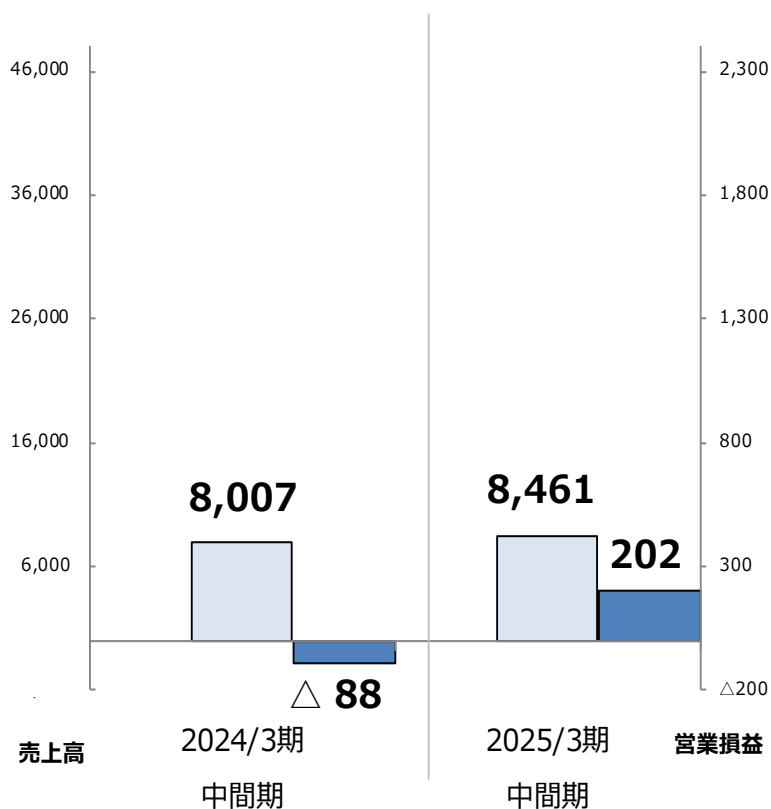
欧州

(内部取引消去前)

前年同期比

◎増収/増益要因 △減収/減益要因

□ 売上高
■ 営業損益



【売上】 +453 (+5.7%)

- △EV化に伴う乗用車関連の受注減
- ◎中小型船舶向けエンジン用軸受などの受注増

【営業損益】 +291 (-)

- ◎労務費や物流費の削減努力



【将来に関する記述等についてのご注意】

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその現実を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

また、大同グループは今回の発表内容に対しまして、法令、規則の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表、発表する義務を負うものではありません。従いまして、これまで発表しました「業績見通し概要」などの将来の記述に全面的に依拠しての投資判断などは差し控えるようお願い致します。

【本資料における表示方法】

数値：表示単位未満を切り捨て

比率：表示単位未満を四捨五入